

体験型サイエンスミュージアム ソニー・エクスプローラサイエンス  
ソニーの映像技術を体験し、環境問題がテーマのアニメーションをつくろう！  
『アニメーション・ワークショップ』  
11月19日(土)、20日(日)開催

ソニーの体験型サイエンスミュージアム「ソニー・エクスプローラサイエンス」(東京都港区台場 1-7-1 メディアージュ 5F)では、11月19日(土)と20日(日)の両日、ソニーの社会貢献活動「ソニー・サイエンスプログラム」<sup>※1</sup>の一環として、小学3～5年生を対象に、『アニメーション・ワークショップ ～環境問題を考えながら、映像の仕組みを体験しよう～』を開催いたします。

「リサイクル・資源」をテーマに、チームに分かれてクレイアニメーション<sup>※2</sup>を制作する体験を通して、環境問題の現状と対策を知り、ソニー製品に应用されている最新の映像技術を体験できるワークショップとなっています。

講師には、東京造形大学・デザイン学科の山際康之教授をお招きし、東京造形大学の学生スタッフの協力により実施いたします。

※1  Sony Science Program  
ソニー・サイエンスプログラム

ソニーでは、50年以上にわたり、科学教育を通じて将来を担う子どもたちを支援する活動をおこなってきました。これからも、多くのお子さんや保護者等の方々に科学への関心を高めてもらうため、『ソニー・サイエンスプログラム』を各地で開催し、各種ワークショップ等にご参加いただく機会を提供して参ります。詳細はこちら: <http://www.sony.co.jp/SonyInfo/csr/ForTheNextGeneration/>

※2 粘土(クレイ)で作った人形などを少しずつ動かし、それをコマ撮りして制作するアニメーション。

～ 記 ～

＜『アニメーション・ワークショップ ～環境問題を考えながら、映像の仕組みを体験しよう～』実施概要＞

- 【期間】 2011年11月19日(土)、20日(日) 13:00～17:00
- 【目的】 環境問題(リサイクル・資源)をテーマにストーリーを構成し、オリジナルのクレイアニメーションを制作します。環境問題の現状と対策を知ると同時に、映像制作のしつみを学びます。また、ソニー製品(特にテレビ)に应用されている最新映像技術を体験することもできます。
- 参加者はグループに分かれて作品を制作し、チームワークの大切さも学ぶことができます。
- 【内容】
- ①「リサイクル・資源」とは？: 山際教授より環境問題に関する講義を行います。
  - ②映像のしつみ: アニメーション(動画)は静止画の連続です。きれいな画像を実現するためのソニーの最新映像技術を体験します。
  - ③クレイアニメーション制作: 与えられたテーマをもとにグループで協力してクレイアニメーションを作ります。
  - ④クレイアニメーション発表: パソコンに取り込んで、編集した映像をグループ毎に発表します。
- 【会場】 ソニー・エクスプローラサイエンス内「サイエンスシアター」
- ※ワークショップ開催のため、開催当日はすべての3D映像上映を休止とさせていただきます。あらかじめご了承ください。
- 【参加者】 小学3～5年生の児童 各日30名
- 【参加費用】 無料(別途入場料大人500円、小人300円が必要)
- 【募集要項】 ソニー・エクスプローラサイエンス ホームページ([www.sonyexplorascience.jp](http://www.sonyexplorascience.jp))から申込
- 応募締切り: 2011年11月9日(水) 応募者多数の場合は抽選となり、当選者には11月14日(月)着で参加証を郵送します。



写真(4点)は『ソニー・サイエンスプログラム』アニメーション・ワークショップ(7月開催時)の様子

## ソニー・エクスプローラサイエンス

- ◆住所: 〒135-8718 東京都港区台場 1-7-1 メディアージュ 5F
- ◆電話: 03-5531-2186 (一般の方のお問い合わせ先)
- ◆公式 URL: [www.sonyexplorascience.jp](http://www.sonyexplorascience.jp)
- ◆営業時間: 11:00~19:00 (最終入場 18:30)
- ◆定休日: 不定休 (年内および年始時期は無休予定)
- ◆入場料金: 一般 大人(16歳~)500円、小人(3~15歳)300円



ソニー株式会社が運営する「ソニー・エクスプローラサイエンス」は、ソニーのエレクトロニクス製品やソニーグループのエンタテインメント・コンテンツ(映画、音楽、ゲームなど)に活用される最新技術を楽しく学べる体験型科学館です。